

フェイスシールド、マウスシールドの使用に注意！

マスクと比較すると、フェイスシールドは顔との隙間が大きいことから、咳等の飛沫が側面や下方から漏れやすく、飛沫拡散防止効果は弱いことがわかっています。

また、マウスシールドについても、フェイスシールドと同様に効果が弱いとされています。

マスクについては、顔とマスクの隙間が少ないもののほうが飛沫拡散防止効果は高いとされており、世界保健機関（WHO）においても、日常生活では布製マスクを、また流行期において60歳以上及び基礎疾患のある方が人との距離を空けられない場合は医療用マスク（サージカルマスク）を着用することを推奨しています。

マスクの効果を得るためには、顔にフィットしやすい製品を選び、正しく装着することが大切です。